

FREE

ご自由に お持ちください。

No.852
2024 September

9

岐阜県の森林・林業

もり 森林のたより

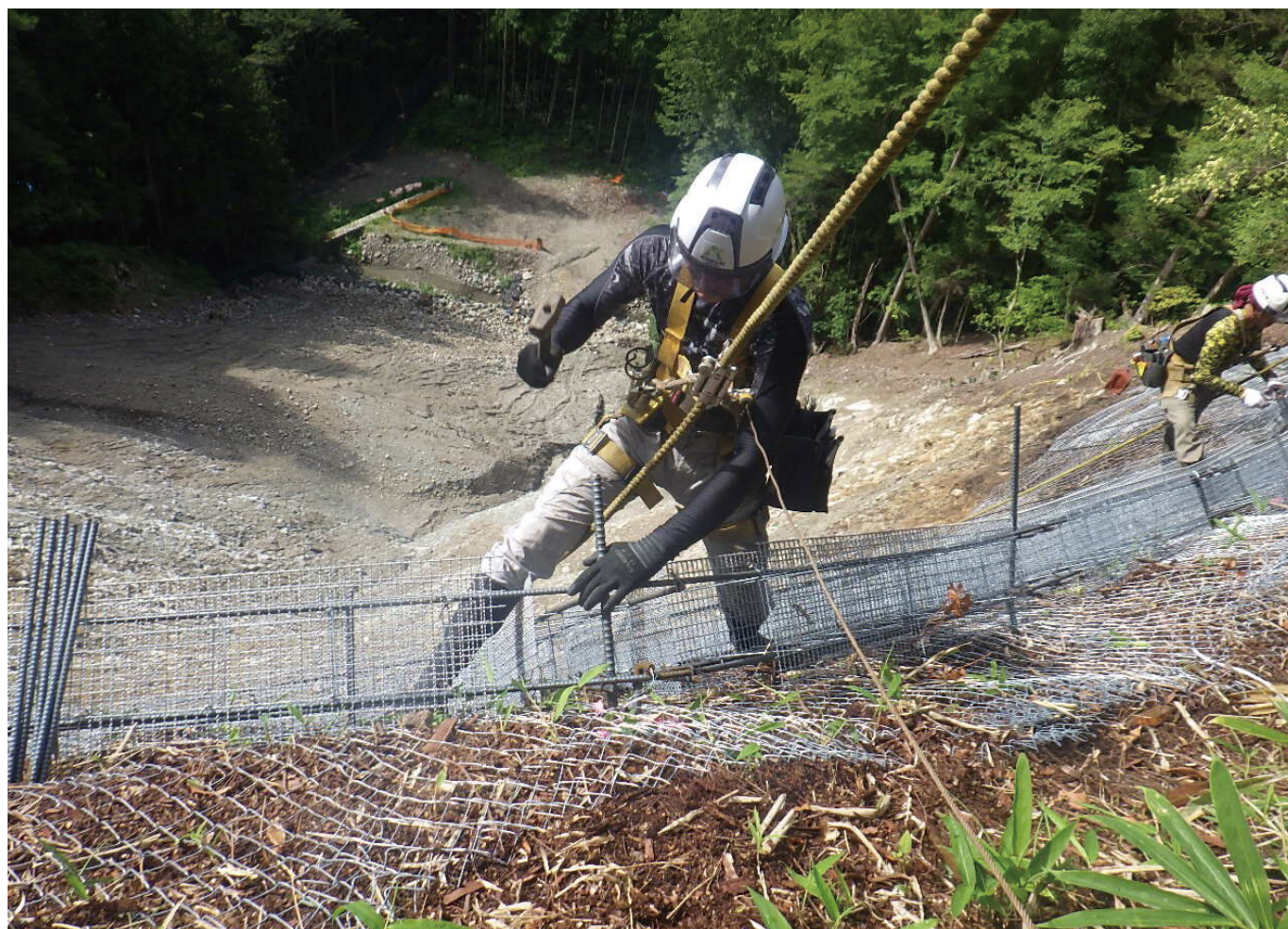


News of the forest



県民の安全・安心を築く!

(治山事業)



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社) 岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内 容 等	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
9月30日(月) 締切	令和7年用国土緑化・ 育樹運動の標語募集	令和7年用の国土緑化・育樹運動のポスターなどで使用する標語を募集します。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL:058-273-7577
10月2日(水)	狩猟免許試験 (第一種銃猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間:9:30~17:00 ●申込:9/4~9/18 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	揖斐総合庁舎大会議室 各地域を所管する県事務所等、または 環境生活政策課 TEL:058-272-8231



イベントカレンダー(一般向け).....	2
「第48回東海地区みどりの少年団サマージャンボリ」を開催しました.....	3
わが社の頑張るフレッシュャーズ.....	4
水源地域で土地の売買等又は開発行為をする場合は事前の届出が必要です.....	4
地域の人 県内最大級のシイタケ生産者をご紹介.....	5
補強土壁天端部雪害対策の検討について.....	6
保安林における制限く立木の伐採の制限.....	7
山の歳時記 229 ゲンノシヨウコ.....	8
森林と人を活かす知恵 140 そろそろ時代は「はだし」の出番.....	9
ぎふ木遊館通信.....	10
morinos 出前体験!!.....	11
シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(5).....	12
「ぎふの木」使います!(9).....	13
研究コーナー 広葉樹の侵入のしやすさを示す取組みについて.....	14
国有林の現場から(95).....	15
森林環境学習カードゲームZORING(ゾーリン).....	16
普及コーナー 「ぎのこ振興センター」の活動.....	17
林業普及通信.....	18
(公社)岐阜県山林協会 令和六年度定時総会開催.....	19
林業者向けお知らせ.....	20
市況.....	20



表紙 ● 治山事業では災害現場の早期復旧を図り、安心・安全な県土づくりを目指しています。写真は崩壊した斜面に吹付け基材固定のための金網を張る作業状況(現場:中津川市)。9月は台風の多い時期、災害への備えをしっかりと行いましょう!

「第48回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました

8月6日に東海三県のみどりの少年団員45名が一堂に集い、「第48回東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー」を岐阜県不破郡関ヶ原町の「関ヶ原ふれあいセンター」で開催しました。岐阜県からは、海津市みどりの少年団、揖斐川町の北方小学校みどりの少年団、高山市の本郷小学校みどりの少年団の3少年団23名が参加しました。

今回も日帰りの日程での開催で、午前中は全員で関ヶ原町歴史民俗学習館の川島学芸員による「関ヶ原合戦と関ヶ原の地形」についてのお話とクイズで楽しく学習することが出来ました。

午後からは2つのグループに分かれて交互に岐阜関ヶ原古戦場記念館の見学と木工クラフトに取り組みました。

古戦場記念館では迫力ある映像に少し驚いた団員もいましたが、午前中のお話で聞いたことが映像でも見ることができ、関ヶ原合戦についての理解が深まったのではないかと思います。

また、木工クラフトでは、本巣市内の家具メーカーの岐阜カリモクの協力により、はじめに家具に使う木の種類や、その木を使ってどのように家具をつくるのか学び、その後用意していただいた製造過程で出る様々な形や大きさの端材を自由な発想で組み合わせ、思い思いに動物や家具、オブジェなど作りました。

熱中症の心配もあり屋内での活動が中心になりましたが、学習や活動を通じてみんなは、すぐに仲良くなり、団員同士の絆や交流も深まり、夏休みの良い思い出になったと思います。

次回は、愛知県での開催を予定していますので、県内からも多くのみどりの少年団の皆さんの参加を期待しています。



歴史学習の様子



木工クラフト製作の様子



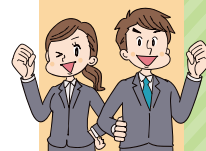
古戦場記念館5階展望室からの見学の様子



集合写真(みどりの少年団勢ぞろい)



[公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆]



（中央）伊藤さん
（左）澤指導員 （右）山田社長

【就業のきっかけは？】

小さい頃から自然に触れるのが好きで、山に入って遊んだりしていました。そんな山の素晴らしさを伝える仕事に就きたく、学びながら伝えられる林業に就きました。

【就業しての感想は？】

（仕事で楽しいこと）

その現場でしか見られないような動植物や、景色を見られることです。日常では見られないものがあるのが、現場を移動するたびに目に入る自然の景色が変化することが小さな楽しみです。

（仕事で辛いこと）

斜面が急なところでの伐採や、伐り出した材木の造材作業などですが、一番辛いと感じるのは、架線集材でワイヤーを引っ張って材木のところまで持っていくことです。距離があったり傾斜が急だったり、状

況が様々なため一回引くだけでもかなりヘトヘトになることがほとんどでした。

【自信がついてきた仕事は？】

林業に就く前より、伐採の技術やチェーンソーの扱いは上手くなったと思っています。

【山づくりへの思い】

山は危険が多いという悪いイメージから、山に入らない、もしくは入ったことがない人が多いと思います。少しでも多くの人が山に入り自然を体感できるように、人が山に入りやすい山づくりをしていきたいと考えています。

【今後の抱負】

林業とは少しかけ離れるかもしれませんが、多くの人が安全に楽しく山に入り、自然を学び、体感が出来るような山を作っていきたいです。

【代表者からのエール】

伊藤さんは、将来的に「木育」に関わりたいという希望をもって仕事をしてくれています。日々、力をつけている姿には、感動しています。

【林業を志す人へのメッセージ】

急激な勢いで木材利用への期待が大きくなっています。その中心となる林業技術者として一緒に活躍しましょう。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-333-4011

「森のシヨブステーション」まで

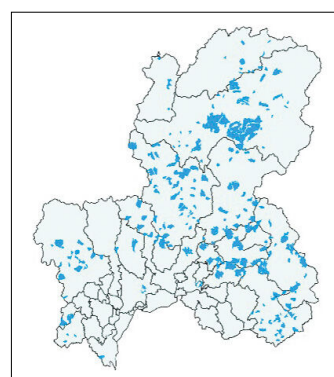
水源地域で土地の売買等又は開発行為をする場合は 事前の届出が必要です

岐阜県では、「清流の国ぎふ」の大切な水源を保全するため「岐阜県水源地域保全条例」を制定しています。

条例に基づき、令和6年7月末現在、22市町村、274箇所、約6万8千ヘクタールの森林が水源地域に指定されています。

水源地域に指定された土地の売買等を行う場合には、その契約の30日前までに県への届出が必要です。

また、1ha以下の開発（林地開発許可または保安林内作業許可の対象となる開発を除く）や、建物等の設置、水を採取するための設備の設置を行う場合には、行為を行おうとする60日前までに県への届出が必要です。



水源地域の指定状況



水源林（高山市朝日町小谷・甲）

水源地域の位置や届出の詳しい内容は、岐阜県ホームページでご確認ください。

岐阜県水源地域保全条例

検索

この条例は、水源林が私たちの知らないうちに売買され、違法に木が伐採されたり、開発されたりすることを防ぐための重要な役割を果たしていますので、事前の届出にご協力をお願いします。



県内最大級の シイタケ生産者をご紹介します

株式会社マルエイ
アグリ事業部 部長

ほん だ いく たけ
本田 育丈さん



また、輝^{かがやき}ファームでは近隣の休耕地や耕作放棄地を賃貸借し、露地で野菜も生産しています。栽培品目は加工用トマト、タマネギ、サツマイモ、エダマメ、

以前は輸入菌床を使用していましたが、今は全て国産菌床での栽培で、今後は岐阜県産菌床のみの栽培を視野に入れています。菌床の国産化において栽培管理の調整が必要になり、一時生産量が落ち込みましたが、工夫と改善を重ね生産量は回復しています。

アグリ事業部は「輝^{かがやき}ファーム」として、山県市にてハウス16棟、延床面積6,400㎡で年間菌床約34万個を使ってシイタケの栽培をしており、昨年の生産量は約205tでした。

生産の規模を教えてください

今回は森林を起源とする木材以外の生産物、「特用林産物」に関する紹介をします。特用林産物の代表はシイタケですが、令和5年次調査において岐阜農林事務所管内で最もシイタケ生産量が多いのは株式会社マルエイです。

今回、株式会社マルエイのアグリ事業部本田部長にお話を伺いました。

カボチャなどで有機野菜を目指し、減農薬・減化成肥料で栽培しています。

シイタケの贈答用のセットもあるようですね

大きく肉厚なものを贈答用に「大地の輝^{かがやき}」として販売しており、社内外にて愛用いただいておりますとともに、山県市のふるさと納税の返礼品としても採用いただいています。また、お客様のご都合に合わせて新鮮なシイタケをお届けできる「ギフトカード」も好評価を得ています。

マルエイにはエネルギー産業のイメージがありますが、シイタケ栽培を含む農業に参入したのはなぜですか？

エネルギーの多様化や日本の食料自給率を支える農業従事者の高齢化といった社会的課題に対峙し、マルエイの企業理念の元、命の源である「食」を通じてこれら諸課題を解決し、永続的・発展的な幸せ社会を創造するべく参入しました。

本田部長はきのこ栽培に詳しくあったのですか？

いいえ。私が本社に配属されていた時、アグリ事業準備室が立ち上がりシイタケ生産へ参入することとなりました。以来10年間、輝^{かがやき}ファームでシイタケ・野菜の栽培に関わってきました。

生産管理に関する取組みをしていると伺いました

今年5月に菌床生シイタケ・乾燥シイタケに関して有機JAS認証を取得しました。

またGAPに準じた生産管理も継続して実施しており、コロナ禍で中断してしまったシイタケの輸出販売の再開も見据えて取り組みたいと考えています。

今後の取組みを教えてください

地球環境にやさしい安心・安全な農業を通じて、環境・農産物・人となりがあうすべての命が輝く永続的に発展する幸せ社会の実現に貢献したいと考えています。

そのため、資源循環を含め環境にやさしい農業、休耕地の活用・雇用の創出を通じて地域の活性化など自社の取組みを推進すると同時にその輪を拡げていきます。



●詳しい内容を知りたい方は

TEL058-214-17409(直通)

岐阜農林事務所林業課まで

補強土壁天端部雪害対策の検討について

飛騨市役所 村田 武

事業概要と背景

岐阜県最北部の飛騨市宮川町では、昭和六十年より森安地区と万波地区を結ぶ森林管理道森安〜万波線（幅員4.0 m、計画延長約12 km、全体事業費約21億円、事業期間46年）の開設事業を進めています。これまでに7 km完成し、現在は標高1,000 m付近で工事を施工しています。

令和二年十一月に完成した補強土壁天端部の破損が、令和四年五月に確認されたため（図1）、今回、その原因調査と改善対策についてご紹介します。



図1 天端部が破損した補強土壁
(令和4年5月 撮影)

調査と原因

●補強土壁の状態

被災した補強土壁は、ワイヤーウオーで豪雪地域の経験を参考にした天端堆雪対策をしていました。（図2）

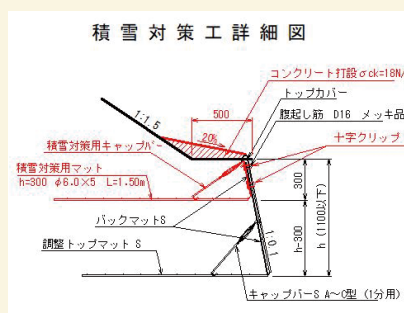


図2 破損した補強土壁天端構造図
(赤字:天端堆雪対策工)

また、現地調査の結果、中〜上段に変位や沈下、壁面の膨らみや漏水、補強材の劣化や盛土材流出、盛土法面等に洗堀や浸水痕がなかったため、補強土壁の地盤や盛土材、施工等に問題はなかったと判断しました。

●飛騨市の雪害

補強土壁が被災した冬期間は、飛騨市各地で雪害報告がありました。中で

も、同町にある池ヶ原湿原（標高1,000 m）では木道が約90 mにわたり転倒しました。（図3）当初、湿地内の支持杭沈下により転倒したと思われましたが、調査の結果、それらに変位はなく、木道の積雪と大きく堆雪した雪庇（雪が庇のようにせり出している状態）が木道肩を引っ張り、支柱破断したことが原因でした。



図3 雪庇により転倒した木道
(令和4年4月 撮影)

●飛騨市の気象状況

雪害が相次いだ気象状況（気象庁飛騨市河合町）を調査しました。令和四年は、二月の降雪量275 cm（163 cm）、積雪量179 cm（127 cm）はともに非常に多く、三月の降雪量は71 cm（70 cm）と平均でしたが、積雪量は155 cm（90 cm）で、こちらも非常に多かったことがわかりました。さらにこの時期は、寒暖差が厳しく融雪と降雪を繰り返したため、この地域特有の水分の多い湿った雪が、より重く堆積したと考えられます。

※（ ）は過去10年平均値

これから、天端の破損も湿原の木道同様に過剰な積雪や雪庇により、外側へ想定以上の引張力が生じたことが原因と推測されました。（図4）

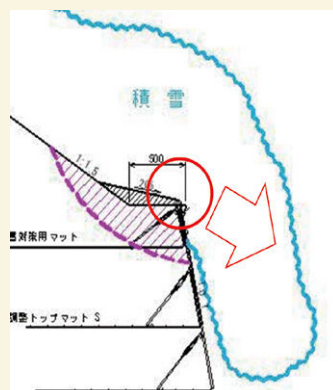


図4 天端被災の推定メカニズム

雪害対策の検討

令和四年度及び令和五年度において、2パターンの雪害対策を施工しました。どちらも、今日まで破損は確認されていません。

●天端堆雪対策の改良（令和四年度）

前回の補強土壁と同製品を使用し、天端対策を改良しました。前回の耐雪部材に加え、天端肩と法面にコンクリートを使用し、耐雪性強化と滑落促進をより向上した構造としました。（図5、6）

堆雪や雪庇に強い補強土壁となりましたが、工事費や施工負担が増となり、また天端と壁面がコンクリートや碎石のため、その箇所の緑化衰退が課題となりました。

● **製品の見直し（令和五年度）**
 施工業者より資材運搬や施工が容易であるフォートラック工法の提案があり、採用した事例となります。（図7）ジオテキスタイルで製品自体が壁面と補強材を全体的に一体化させる巻込式のため、天端肩が強化された構造となっています。（図8）特別な堆雪対策の必要もなく、施工性や環境性に合った補強土壁だと感じました。

ただし、直高5m程度までの施工条件や、今回同等以上の気象条件に耐えられるか、またコスト面の比較等といった様々な検証が今後必要となります。



図6 改良した補強土壁
 （令和4年10月 撮影）

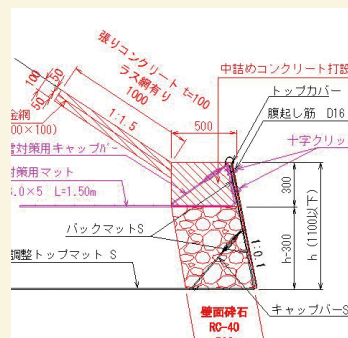


図5 改良した天端構造図
 （赤字:改良箇所）

標高が高く工期が限られている現場は、施工性と安全性が求められる、耐久性や持続性、環境にあった構造物を検討する必要があります。これらを総合的に判断し、持続可能な林道の整備を進めていくことが重要と考えています。

今後の取組み

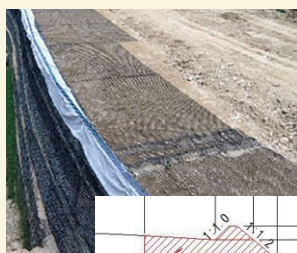


図8 巻込式の状況写真と構造図



図7 フォートラックRS工法
 （令和5年8月 撮影）

保安林における制限

～立木の伐採の制限～

必ず事前の手続きが必要です

保安林とは、水源のかん養、土砂の崩壊その他の災害の防備、生活環境の保全・形成等特定の公益目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定された森林です。

保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されています。

今回は、立木の伐採の制限について説明します。

伐採の制限について

伐採方法		手続き方法	手続期間	提出先
主伐	択伐	天然林は許可が必要	伐採を開始する日の30日前までに申請	県農林事務所
		人工林は届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	県農林事務所
	皆伐	許可が必要	皆伐限度面積の公表の日（年4回）から30日以内に申請	県農林事務所
間伐	伐	届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	市町村

注意事項

- 伐採が禁止されている保安林があります。
- 主伐（択伐・皆伐）は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢に満たない立木は伐採できません。
- 皆伐限度面積の公表の日は、2月1日、6月1日、9月1日、12月1日（土日及び祝日を除く。）の年4回です。
- 間伐は、樹冠疎密度（林地面積に対する立木の樹冠投影面積との比率）が80%に達していない森林では行うことはできません。

伐採をする場合は、許可又は届出など事前の手続きが必要です。また、皆伐を行う場合は、伐採現場に伐採旗の設置が必要となります。詳細は、各県農林事務所にお問い合わせください。

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（4412または4413）森林保全課森林管理係まで



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

ドクダミやセンブリと並び称される3大民間薬のゲンノショウコが花を咲かせていました。

ゲンノショウコ (Geranium thunbergii) は茎葉に下向きの毛が多数あり、地面を這う細い茎に長い葉柄を持つ葉を対生させます。葉は掌状に3〜5深裂し、裂片の先も3裂します。春先の葉の多くは赤紫色の斑点が入り、成長すると斑点はなくなります。

夏から秋にかけて咲く5弁花は淡紫色の筋が入り、花弁の色あいは紅紫色や淡紅色・白色と変異があります。一説には東日本は白色系が多く、西日本は赤色系の花が多いとされます。

果実が熟すと中軸に沿って5片に裂けて先が丸くなり、御輿（みこし）の屋根を連想させるためミコシグサ（御輿草）の名があります。

昔は日当たりの良い道端や野山などにごく普通に見られる薬草でしたが、最近では外見がよく似た外来種のアメリカフウロが繁殖しているのが目立ちます。

貝原益軒の『大和本草』（1708年）には「陰干しにして粉末にし、湯にて服す。能く痢を治す。赤痢に尤も可也。また煎じても或は細末にし丸薬として皆効果がある。本草には此機能をのせず。本草は毒草類にのせたり。然れども毒なしという。一度植えれば繁殖し除き難い」と記され、ゲンノショウコ

の効能や繁殖力の強さがつづられています。

また小野蘭山の『本草綱目啓蒙（1803年）』には「根苗ともに粉末にして一味用いて痢疾を療するに効あり、故にゲンノショウコと言う。」とあり、昔から下痢止めに煎じて飲めばたちまち効く「現の証拠」であると記されています。

薬効成分は主にタンニン的一种であるグラニンと数種のフラボノイドで、グラニンは下痢に、またフラボノイド類は便秘に効果があります。一見矛盾するようですが両

成分とも病気の原因になる過酸化物を消去するのに役立ち、飲み過ぎても便秘や下痢などの副作用がなく、優れた健胃整腸剤なのです。同じような



白色系の花を咲かせたゲンノショウコ

薬効成分はイチゲフウロ、タチフウロ、コフウロ、ヒメフウロなどにも含まれます。

昔から「ゲンノショウコは土用の丑の頃に採取しろ」と言われます。これは第1に夏に花が咲くため、葉の外観がよく似たトリカブトやキツネノボタンなどの有毒なキンポウゲ科植物と区別し易いこと。第2に6月〜8月にはタンニン類の含有量が最大になり、12月〜2月に最小になるため、1年分の薬草をこの時期に採取するのです。

そろそろ時代は「はだし」の定番

森とつながる「はだしのトレイル」から見えたこと

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 萩原・ナバ・裕作

2014年、ドイツ・ロッテンブルク大学との連携協定締結以来、森林文化アカデミーの森林環境教育専攻では、シンポジウム、留学生の受け入れ、共同研究、視察研修など数々の事業を積極的に展開してきました。また2020年にはドイツの森林教育施設を参考に日本初の森林総合教育センター「Morinos（モリノス）」が学内に誕生しました。そしてこの連携協定で初訪独した際、私は「はだしのトレイル」に出会ってしまったのです。



ドイツの「はだしのトレイル」

はだしのトレイルとは、土、泥、石、木、水など様々な素材を足裏で感じながら歩くことができるトレイルで、ドイツでは郊外の森や公園でよく見かけます。気軽に歩けるよう、脱いだ靴を入れるコインロッカーや、足洗い場が整備されていたり、足湯やロッキングチェアなどリラクセスできる仕掛けがあったり、はだ

しで歩きながら楽しめるアートや写真、自然解説が展示されているトレイルもあります。全長2〜3kmにも及ぶはだしのトレイルを、家族や友人とおしゃべりしながらゆっくりと楽しむドイツの人々の姿が印象的でした。



トレイルにはいろいろな足裏の感触が待っている(ラトビアにて)

「日本にも広めたい！」帰国後、当時企画中だったMorinos（モリノス）の構想に早速盛り込みました。その後、清水建設株式会社との連携協定で「はだしの広場」を整備していただくことになり、そこからつながる森の中の「はだしのトレイル」を、ドイツのように専門の業者が作るのではなく、あえて「県民参加型」で作ることにしたのです。

「はだし」「健康」というキーワードで集まった県民が毎月集まり、森を観察しながら、どこにトレイルをつけるか、どうしたら森へのインパクトを最小限に抑

えられるかなど、専門家に聞きながら作業を進めていきました。参加者は、「はだしの森」と名付けたこのプロジェクトを通して、森や動植物、土壌菌、森の見た、トレイルや森の整備の仕方に興味を持つようになっていったのです。手間と時間がかかりますが、森と人をつなぎ、自分で考えて森に関わる人を増やすための効果的な方法であると確信できました。現在、この森やトレイルのメンテナンス作業も県民参加型で継続中です。



県民と一緒に「はだしの森」をつくる

そんな「はだ

しのトレイル」を都会の人にも体験してもらいたい！と思い、住友林業株式会社との連携協定で提供していただいた森の体験出前カ



morino de vanによる「はだしのトレイル」@赤坂

「Morino de van（森の出番）」に、移動型はだしのトレイルを積み込み、東京赤坂TBS前で開催されたイベントに出展しました。するとどうでしょう、子どもたちは、この感覚に飢えていたかのよう、何度も歩き回り足裏の感触を楽しみ続けていたのです。

この活動を続けて5年、県内外でこの「はだしのトレイル」が教育現場や公園、イベントなどで少しずつ広まっているようです。実は、世界でもドイツから始まりヨーロッパ各地、ロシア、韓国など世界中に広まっています。かつて原野や森をはだして歩いてきた私たち人類の記憶が、あの感覚をもう一度取り戻そうとしているのかもしれない。

バーチャルな世界が発展していくこれからの時代、私たちは生き物としてのバランスを保つためにも、五感でリアルに感じる体験を意識的に取り入れていく必要があります。ホモサピエンスが生まれた森の空間や里山は、そのための最高の空間であることは間違いありません。そうそう、これは余談ですが、「はだし」ではなく「はだかのトレイル」も10年近く前から真剣に構想しています。興味のある方、新たなテーマパークを計画の方、ご連絡お待ちしております。



*「はだしの森」に興味のある方、「Morinosチャンネル」の「はだしの森」プロジェクトの動画集をお楽しみください。



ぎふ木遊館通信



ぎふ木遊館では、大型木製遊具や木のおもちゃで楽しく木にふれあってもらうこと以外に、土日・祝日を中心に、季節に合った遊びや木のものづくりなどの木育プログラムを開催しています。

今回はその中の「まあるいつみきのお星さま」と「こっぱー TOY ～作ってみよう! 木のおもちゃ～」の2つのプログラムを紹介します。

■ まあるいつみきのお星さま

講師はぎふ木育協会の野村美香さん。ぎふ木遊館でもおなじみの「まあるいつみき mini」を製作するときにできた端材を4つ組み合わせて、お星さまの形のアクセサリーをつくるプログラムです。

はじめに、16種類の木の端材から、好きなものを選んでボンドで固定しました。ボンドが乾くのを待つ間に、講師の野村さんから木のおはなしを聞きます。針葉樹と広葉樹の特徴や使われ方を教わったところで、しっかり固定されたお星さまを磨きます!

いとこのでくりぬかれたばかりの端材はささくれがたくさんあり、参加者は荒い紙やすりがボロボロになるぐらい一生懸命磨いて平らにしました。次は細かい紙やすりでもっと磨いて、自分だけの手触りの良いお星さまを作っていました。

最後に、希望者はオイルで塗装をし、自分好みのビーズやひもを選んで、プレスレットまたはネックレスに仕上げました。

参加者からは「いろいろな木について知ることができて楽しかった」「かわいいペンダントをつくれてうれしい」等の感想をいただき、できあがったアクセサリーを身に付けて会場を出る皆さんの顔はとても嬉しそうでした。



まあるいつみきの端材



一生懸命磨いて滑らかに

■ こっぱーTOY～作ってみよう! 木のおもちゃ～

講師はNPO法人岐阜県木育推進協議会の菱田美和子さん。小さな木っ端(こっぱ)から自由に木のおもちゃを作るプログラムです。この講座の面白いところは、「こっぱー」というオリジナル木っ端磨き装置を使うところです! 福引のガラガラのような箱の内側に紙やすりが取り付けられており、手でガラガラと箱を回すことで、中に入ったたくさんの木っ端の角がとれて滑らかになり、楽しく材料磨きができる優れものです。「こっぱー」を開けると、ホワンと木の香りが漂い、色々な形の木っ端が登場します。これには子どもたちの表情もぱっと明るくなりました。かたや真剣に材料を選ぶ工作好きのお母さんもいらっしゃいました。

着色と組み立ての時間に入ると、子どもたちの想像の世界が広がります。どの参加者もとても集中して、思い思いの作品を作りました。参加者からは、「木をたくさん使えて、理想のかたちの木っ端もあったのでよかった」「素敵なおもちゃに囲まれて、私(大人)も嬉しかった」等の感想をいただきました。



「こっぱー」をぐるぐる回して材料磨き



中には材料の木っ端がたくさん!



完成品

News! 秋篠宮妃紀子さまが御視察されました

令和6年7月18日、岐阜市で開催された第60回献血運動推進全国大会に秋篠宮皇嗣妃殿下紀子さまが出席され、大会後に当館を御視察されました。

当館では、木育ひろばの丸太トンネルや桐のベンチをご覧になられた後、いづみ第二幼稚園の園児の皆さんとイブブロックによるリズム遊びをされました。また、清流木玉プールでは園児と一緒に中に入って遊びを楽しまれました。次に、赤ちゃんひろばをご覧になり、クーゲルバーン等で遊んでいる親子にお声がけをされました。赤ちゃんひろばを利用した保護者の一人は、「木のボールを転がしてきれいな音色が鳴って子どもが手を叩いて喜ぶ姿を、紀子さまと一緒に拍手をしてくださり優しい眼差しで微笑んでくださいました」と話されていました。





やがてみんなの森になる

morinos

出前体験!!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）で実施している出前体験についてご紹介します！

＜「はだしのトレイル」を出前！～FC岐阜 十六フィナンシャルグループサックスマッチ～＞

morinosでは、森に親しむ入口となる様々なプログラムを開催しています。今回は、6月29日（土）に岐阜メモリアルセンターで実施された「FC岐阜ホームゲーム 十六フィナンシャルグループサックスマッチ」のイベントに出展してきました。当日は朝方の雨が嘘のように晴れ、400人近い人がmorinosのブースへ足を運んでくださいました。

このイベントは、FC岐阜のホームゲームのキックオフ前に行われたもので、「はだしのトレイル」の他、「森のアロマづくり」、「ヒノキのおがくずまくら体験」を実施しました。



はだして自然物の上を歩く
「はだしのトレイル」



ヒノキのおがくずを詰めた
「森のアロマづくり」



ハンモックで
「ヒノキのおがくずまくら体験」



「はだしのトレイル」では
シカの冬毛が大人気



捨てられてしまうはずの
おがくずがアロマに大変身



「気持ちいい」とハンモックに対する感想も

体験者の中には、森林文化アカデミーやmorinosに興味を持ってくださる方もいて、中には「最近行ってないので、今度久々に行きたいと思います」や「実際に森の中でハンモックに揺られてみたいので、今度morinosに行きます」と言ってくださった方もいました。

今回、体験を楽しんだ人はたくさんいましたが、自然っていいなと思った人は少ないかもしれません。しかし、今回の体験がいずれ自然に興味を持つ誰かの小さなきっかけになっている可能性もあるのではないのでしょうか。その誰かが、森林に目を向け、この先も守っていかうと思ってくれたらうれしいです。

morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

YouTube 検索「morinosチャンネル」

開館時間 10:00～16:00

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

5

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

ぎふの木育教材導入支援事業

事業目的

将来の森林づくりを担う子どもたちが、直接木を見て触れることのできる木製学習教材や木のおもちゃの導入を支援し、「ぎふ木育」を普及します。人や自然に対する思いやりや情緒豊かな心を育むとともに、木材利用や環境保全に対する理解につなげます。

事業内容

ぎふ木育の取り組みで必要となる木育教材（木のおもちゃ、木製品キット等）の導入を支援します。

- 補助対象者**：市町村、学校法人、社会福祉法人、一般社団法人、医療法人、子育て関連のNPO法人 等
- 対象施設**：県内の幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校、義務教育学校、市立特別支援学校、児童福祉施設、地域子育て支援拠点施設、認可外保育所、託児所、活動場所が特定されている放課後等デイサービス事業所・親子サポート教室・公民館、保育・幼児教育等の学科を有する大学等
- 補助率**：導入経費の1／2以内
 （補助金の上限額100千円／施設、木製品キットは上限額3千円／1キット）
 （※ぎふ木育教室を実施する場合の木育教材導入経費：導入経費の10／10
 （導入経費が20千円を超える部分は1／2）以内。上限100千円／施設）
 （※ぎふ木育ひろば認定時の木育教材導入経費：導入経費の10／10以内。上限100千円）

令和5年度の実施状況

計画値60施設を上回る74施設の導入に対して支援しました。導入した木育教材の利用者数は延べ5,435名であり、多くの子どもに木とふれあい親しむ機会を設けることができました。

導入施設へのアンケート結果では、子どもたちや保護者の反応が「非常によかった」が70%、「よかった」が30%で、合わせて100%でした。具体的には、下記のような感想がありました。

「実際に触って遊ぶことで香りや質感など心地よさを感じ、木の名前への興味も広がった」
 「木の良い香りがする県産材を利用し、地産地消の学習にもつながった。」
 「保育に木育を取り入れていることに保護者からも好感を持たれている」



児童福祉施設に導入されたぎふの木のおもちゃ



中学校の技術科の授業で使用する木工キット



“ぎふの木”使います！

— 岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結者のご紹介 —



県では、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、事業者と協定を締結し、県産材の利用を促進する構想の実現に向けて連携して取り組むことで、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指しています。

令和6年2月28日に第2回目となる協定締結式を執り行い、11事業者（10協定）と協定を締結しました。その各協定締結者の取組みを紹介します。

おおとり 凰建設株式会社（岐阜市）

<今までの取組み内容>

私たち凰建設は、世界に誇れるような性能や快適性、機能性、さらには日本の匠の技を駆使して日本の風土にあった日本人が心地よいと思える家づくりを目指しています。

自社の山から直接伐り出す桧はもちろん、地元の名良杉など、家づくりに岐阜県産材を使うことは、私たちのモットーである、家づくりで地域を豊かにすることに繋がります。

新築工事には必ず岐阜の木を使用しており、柱や梁の見える構造は、お客様からのご好評をいただいております。



<今後の取組み内容>

今後、さらに県産材の利用を増やしていくために、非住宅建築物の木造化にも力を入れていきます。

まずは、岐阜市内に木造店舗を建築し、机やイスは岐阜県産材を使用したものを導入する予定です。

新築する店舗や導入する備品の情報は、ホームページやSNS等で広く発信していく予定です。



<事業者概要>

○所在地

岐阜市芥見南山3-5-31

○主な業務内容

建設業

○ホームページURL

<https://www.ohtori.net/>

○Instagram・X・YouTubeなどのSNSで情報配信しております！



各協定締結者には、県産材の活用について積極的な普及啓発に努めていただきます。



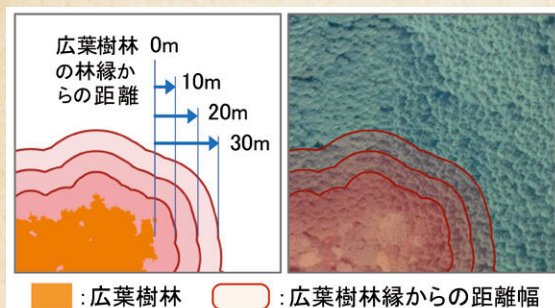


図1 森林空中写真の画像分類により広葉樹林を抽出した結果(左図)と林縁からの距離幅を作成した例

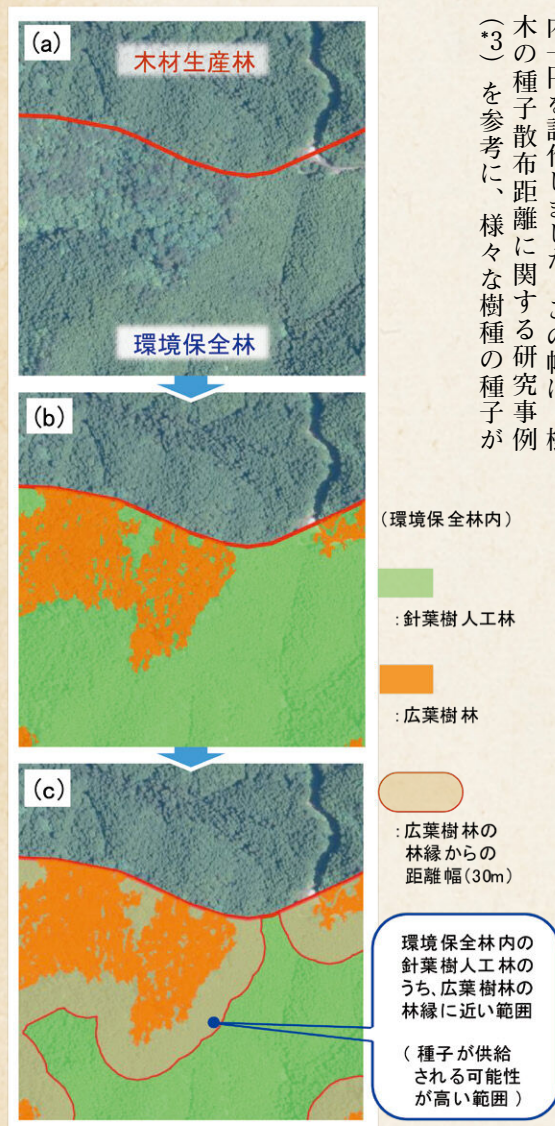


図2 環境保全林内の針葉樹人工林の状況を確認した事例
(a) 森林配置計画(将来目標区分)の状況
(境界より上部:木材生産林, 下部:環境保全林)
(b) 環境保全林内の針葉樹人工林と広葉樹林の分類
(c) 広葉樹林の林縁からの距離幅(30m)の図示

岐阜県森林づくり基本計画では、森林配置計画として「環境保全林」に区分した範囲の針葉樹人工林を針広混交林(*1)に誘導することを目標として

取組みの背景

広葉樹の自然侵入を活かした森林整備を行う場合、種子供給源となる広葉樹林が近辺にあるか、事前に確認することが重要です。
現在、広葉樹の侵入のしやすさを示す資料として、広葉樹林縁からの距離区分の図示に取り組んでいます。

広葉樹の侵入のしやすさを示す取組みについて

森林研究所 ● 久田 善純

います。距離区分の図は、そのための技術指針の一部として用いることを想定して作成しています。

作成の方法

距離区分図は、森林空中写真のデジタルオルソ画像を使って作成します。画像中の地物の色や形の特徴を解析し、針葉樹人工林／広葉樹林／竹林／裸地などに分類(*2)のうえ、広葉樹林部分のみを抽出してGIS上で林縁から距離幅を描きます(図1)。

県全体の民有林を対象に作成するにあたり、まずは水平距離30mの幅で県内の種子散布距離に関する研究事例(*3)を参考に、様々な樹種の種子が

まとまって届く可能性が高い範囲として設定しており、今後の現地検証の結果や運用時の課題点を踏まえ、見直ししていく予定です。

運用に向けて

この図は、広葉樹の自然侵入による森林整備を計画する時点において、侵入の可能性を確認するために使います。

例えば、環境保全林内の針広混交林化を計画する際、針葉樹人工林内のうち種子供給の可能性が高い範囲を、図2のように把握することができます。

この範囲は地形に関係なく表示したもので、ドングリなど主に重力で散布される樹種については、現地踏査によって地形の状況(整備対象地と母樹との位置関係)を確認する必要があります。

このほか、現地踏査では、侵入した広葉樹の定着や成長を阻害する要因など、様々な条件を確認し、計画を精査

する必要があります。現地で確認すべき諸条件を整理するため、現在、人工林内への広葉樹侵入の実態について県内の調査を進めているところです。

距離区分図については、現時点の成果分(一部地域は作成・調整中)を提供可能です。使用時の感想や現地との整合などについて教えていただき、改善をしていきたいので、関心のある方は森林研究所にお問い合わせください。

(*1) この取組みにおいては、針広混交林を、「高木性の針葉樹と広葉樹が林冠層で混交した林」と定義します。

(*2) 画像解析ソフト(ENVI)のオブジェクト分類(Feature Extraction)。

(*3) (国研) 森林総合研究所ホームページ(<https://www.ffpri.affrc.go.jp/research/saizensen/index.html>)

研究紹介・研究成果・研究成果2020年紹介分「樹木の種子は意外と遠くに届かない」

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで

森林環境学習カードゲーム ZORING(ゾーリン)

今回は、東北森林管理局より、小中学生向けの森林環境教育教材カードゲーム「ZORING」(ゾーリン)を紹介します。

◆「ZORING」とは

小中学生が森林づくりを楽しく学べる森林環境教育の教材として、三陸中部森林管理署の若手職員6人が制作しました。地拵から主伐までの森林づくりの過程をテーマに、4〜5人のプレイヤーが「自分の森林づくり(森林整備)」を競う対戦型のカードゲームです。

◆特徴

- 森林整備の過程を題材にしました。
- 児童生徒が主体的に森林や林業を学び、興味をもつきっかけとなるようカードゲームにしました。
- コミュニケーションが取りやすくなるよう、ゲーム性(攻守、勝敗)を盛り込みました。
- デザインについては、直感的にプレイできる、シンプルでポップな親しみやすいものにしました。

◆ルール

トランプの七ならべの要領で、地拵から伐採までの「事業カード」を順番に並べて自分の「森林」を作っていくカードゲームです。

カードには「事業カード」のほかに3種類あり、それらをゲームの中で使いながら進めていきます。

実際に山(森林)で起きている、二ホ

カードゲームが拓く
森林環境教育
ユ-リ-ン
ZORING
活用事例

Schools
小・中学校
森林教室だけでなく、各教科の学習の時間、総合的な学習の時間、社会科、技術科等に活用する講義を行っています。

Events
地域の産業まつり
市町から依頼を受け、出展。専用のブースでは子どもから大人まで、幅広い年齢層がZORINGを体験。

Workshop
団体向け講習会
公共団体向けに講習会を実施。実際に活用しているだけでなく、広域的な普及を目指す。

ンジカによる食害や松くい虫による虫害などの「被害カード」は他のプレイヤーの森林づくりを攻撃し被害を与えることができ、その被害を防ぐためハンターや薬の「対策カード」を使うことで防御することができます。

自分の森林の整備が進まない場合は「事業者カード」で事業を1つ進めることができます。

勝敗は各プレイヤーの森林づくり(森林整備)の進み具合によって決まります。

「被害カード」には山火事や集中豪雨を数枚加えています。

自分の森林づくりがどんなに進んでいても、一瞬で山を丸ごと消滅させられてしまう恐ろしいカードです。実際には多く起こる事ではありませんが、自然災害の恐ろしさを感じ

じとれると思います。

◆反応や感想

「1本の木が育つまでの大変さを知ることができた」、「定期的な森林の手入れが必要ことがわかった」や、「クマのカードを追加してほしい」などの発展的な提案もありました。

さらに、プレイ体験後の児童生徒が「じごしらえ」や「したがり」など専門用語を口にしてしている様子が見られました。

◆ゲームを通して伝えたいこと

長い年月をかけて育てた木々が伐採までたどりついた時の喜びはもちろん、植えた木がシカに食べられたり、山火事が起きてすべて燃えてしまったりと悲しいアクシデントなどをゲーム内で体験することで、林業に携わる人々のやりがいやもどかしさを少しでも感じ、児童生徒には森林の大切さと林業という仕事を知り、森林へ親しみを感じてもらうアイテムとなればと思います

◆詳しい情報はコチラ

東北森林管理局
ZORING特設サイト



最新情報やカードデータ
ルール説明はこちらから

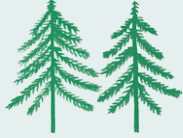
(東北森林管理局

三陸中部森林管理署

ZORING普及委員会)



「きのこ振興センター」の活動



■森林文化アカデミー 森林技術開発支援センター

技術普及係 田中 郁男

読者の皆様。令和6年1月号で、「きのこ振興センター」が岐阜県森林文化アカデミー内に設置され、きのこに関する様々な相談に対応している活動事例を紹介しました。

今回も、これまでの活動事例の一部をご紹介します。

① 菌床しいたけ施設における夏場の管理指導

しいたけ生産者の多くは、鍋シーズンの始まる秋以降に、しいたけの発生がピークになるよう菌床の管理をされています。

しかし、「何か今年は、上手く発生しないぞ。どうしてや。」といったお問い合わせが多々あります。

しいたけの発生には、発生時の温度や浸水等の刺激が必要なのですが、その他にも、春から夏にかけて菌床の熟度を増すために、ハウス内で行う培養管理も重要なポイントです。

近年、早くから真夏日が計測されるなど異常な高温になることがあります。

これまでも培養期間中の温度管理について注意喚起してきましたが、森林研究所が試験的に高温にした場合、とりわけ36℃を超えた場合に、しいたけの発生量が減少

することも分かってきました。このような具体的な数値等を示すとともに、夏場の培養の良し悪しが、秋以降の発生に大きく影響することとを説明し、翌年度は、夏場の菌床の温度も気にして、温度を抑えるよう助言しています。



散水による菌床管理

② 経験の浅い生産者の栽培指導

「新たにきのこ生産を始めた。」「きのこの栽培品目を替えた。」きのこの栽培を引き継いだ。」など経験の浅い生産者もみえます。

ある生産者の施設を伺った時のこと。

「しいたけが出すぎて困っている。一人では取り切れないの。」と途方に暮れてみました。



一斉に発生したいたけ

この方は、これまで夫婦で栽培されており、収穫やパック詰めを担当されていましたが、ご主人が亡くなられたことから、発生操作も行う必要が生じました。見よう見まねで、1500個の菌床全てを浸水操作してしまったとのことでした。

この時は、ロットを決めて浸水等の操作を行うことや、袋カット等のやり方も、実践してみせるなどして改善を図りました。

③ ぎふ清流GAP評価の支援

「ぎふ清流GAP評価制度」は、きのこ生産の工程管理の取り組みです。

きのこ生産者の方は、100を超える項目について評価を受けるのですが、事前に項目一つずつに

ついで、どのような取り組みが必要なのか2時間程度かけて説明しています。

評価項目に「リスク評価」という言葉が数回出てきます。

「異物混入」等の食品安全、「農作業事故」等の労働安全などが評価対象となります。

生産者は、日々きのこ生産を行うなかで、リスク管理を実践しているのですが、その内容を記述し、記録に残してはいません。



リスク評価（立入禁止とネット設置）

記述し、記録に残すことの大切さを説明すると、特に家族経営的な生産者は「そんなことは、夫婦やで、いつも気にして話をするし、記述してもな〜。」と。ごもつともなご意見です。しかしながら、GAPの意義を根気よく説明し、リ

スク表を作成し、評価を受けてもらいました。

評価後に、お伺いしたところ、「やっぱり、紙に記述して、記録を残すと、よう分かるな。やって良かったな。」と前向きなご意見も伺えました。

このように、「きのこ振興センター」は、きのこに関する様々な相談に親身になって対応していますので、何でも良いので気になることがありましたら、ご相談ください。

④ マッシュリーダーの養成

「きのこ振興センター」では、きのこの指導ができる職員（林業普及指導員）2名が、県下全域のご相談等に対応していますが、将来にわたって、きのこの指導ができる職員を養成する必要もあります。

そのため、「きのこ振興センター」の職員が講師となり、きのこ生産等に興味のある若い職員に対して、講義や実際に菌床製造をさせたり、生産施設を見せたりして、3年間をかけて職員の養成も行っています。

●詳しい内容を知りたい方はきのこに関する相談は
TEL0575-351253355
森林文化アカデミー

きのこ振興センター 技術普及係まで

森林技術開発・支援センター 林業普及通信

林業普及活動意見交換会を開催しました

岐阜県では、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展のため、林業普及指導員（AG）を置き、県内各地で林業普及指導事業を推進しています。

林業普及指導員が業務を実施するにあたり、総合的な視点をもつて地域の期待に応えられるよう、県内各地の普及活動の実績の発表と、普及活動全般についての意見交換を行う、林業普及活動意見交換会を8月7日（水）に開催しました。

意見交換会では、林業普及実績発表として、県内各地の事例が4件発表されましたので簡単に紹介します。

発表1 ICT機器の普及支援の一例 岐阜農林事務所

事業体へGNSS測量機器の活用を促すため、機械の取り扱い等についての研修会を実施。また、導入済みの事業体に対し、活用に向けた支援を実施。

発表2 可茂地域広葉樹整備方針（シイタケ原木生産林の造成） 可茂農林事務所

可茂地域は原木シイタケの生産地であり、原木を地域で安定的に

供給できるようにするため、広葉樹施業の勉強会の開催や、広葉樹林の整備指針の策定を実施。

発表3 定点観測によるきのこ生産者の現状分析と課題把握、そして、課題に対する普及指導1年目の取組み 恵那農林事務所

地域の中核的きのこ生産者への定期的な動向調査を通じ、きのこ生産振興に向けた課題などを把握。また、担い手確保に向けた高校と生産者との連携づくりや、生産資材の供給不足・価格高騰への対応についての支援を実施。

発表4 飛騨市の森林整備体制の構築について 飛騨農林事務所

天然林の割合の高い飛騨市において、特定間伐計画を策定し、小規模な森林においても森林整備を推進できる体制を構築。

参加者による投票で最優秀となった恵那農林事務所には、10月に富山県で行われる林業普及指導員中部・北陸ブロックシンポジウムで、岐阜県代表として発表してもらった予定です。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0575-351253355
森林文化アカデミー
森林技術開発支援センター

普及企画係まで

（公社）岐阜県山林協会 令和六年度定時総会開催

新役員が決定しました

去る八月七日、岐阜市内のホテルにおいて令和六年度定時総会を開催しました。



山内会長挨拶

いる。さらに多発・激甚化する自然災害に備えた防災・減災対策の推進など、山積する課題に対して国や県への要望活動を通じ、予算確保や制度提案を行うことは当協会の責務である。今後も積極的に取り組みたいと考えており、会員の皆さまのさらなるご支援をお願いしたい」と挨拶がありました。



前会長への感謝状贈呈

開会にあたり、山内会長からは、「本年五月から会長の大役を仰せつかり、改めて協会の発展に誠心誠意努力する」旨と、「脱炭素社会の実現に向け、森林の役割は益々重要視されており、CO₂吸収力の高い森林づくりを進めるため、主伐・再造林や担い手育成などを強力に進める必要がある。一方で、住宅資材などの高騰が継続し、木材利用の大宗を占める木住宅の着工が大幅に減少して

議事に先立ち、前会長の日置敏明様への感謝状の贈呈と令和六年度治山林道工事等コンクリートの表彰が行

われ、日置前会長からは、在任中のご厚情とご支援に対するお礼と、森林・林業の諸課題解決のため、協会の役割は益々大きくなっており、新会長を中心にさらなる取組を祈念する旨のご挨拶がありました。



久松林政部長挨拶

続いて、知事代理の久松一男林政部長から、「森林サービス産業育成、Gクレジット制度運用など、新たな施策に取り組んでおり、今後も協会や会員の皆さんの助言を賜りながら進める。協会の益々の発展と参集の皆様のご健勝を祈念する」とお祝の言葉をいただきました。また林野庁長官代理の浜浦林野庁治山課課長補佐、県議会水野議長、日本治山治水協会の中山部長からもそれぞれご祝辞を賜りました。

議事では、令和五年度事業報告と収支決算、令和六年度の会費の額な

どの二つの議案が原案どおり承認された後、今年度は役員改選の年に当たするため、第三号議案で新役員の選任を諮り、十七名が選任されました。

新役員一覧

会長 山内 登（下呂市長）

副会長 藤原 勉（本巣市長）

可児 登（可茂森林組合長）
高井 峰好（学識経験者）
※専務理事を兼務

理事 林 宏優（山県市長）

岡部 栄一（揖斐川町長）

山下 清司（関市長）

山川 弘保（郡上市長）

佐伯 正貴（白川町長）

水野 光二（瑞浪市長）

小栗 仁志（中津川市長）

都竹 淳也（飛騨市長）

成原 茂（白川村長）

上川 渡福雄（飛騨市森林組合長）

監事 石田 仁（大垣市長）

川邊 武（中津川市森林組合長）

神原 和義（岐阜県森林組合連合会 常務理事）

開催日	行事名等	内 容 等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
9月19日(木)	造林作業の指揮者等 安全衛生教育	●講習時間: 8:50~16:50 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 11,200円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6)
			林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
9月26日(木)	作業計画作成のための 安全衛生教育	●講習時間: 9:00~16:30 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 13,420円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6)
			林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月10日(木)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	●講習時間: 学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6)
			林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



先日、林業経営を題材にしたカードゲームを体験しました。林業の仕事をロールプレイしながら森を育て、利益を増やしていくゲームです。資本を元手にチェーンソーや林業機械を購入し、森林整備を進めていきます。ゲームを進めていくと、自然災害や獣害により損害が発生することもあります。利益を求めるか、獣害対策に重点を置かなど、自分なりの森林整備の方針についてとても悩みました。ゲームを楽しむとともに、林業経営の難しさを学びました。

今回体験したゲームの他にも、製材や林業安全に特化したものなど、特色あるカードゲームが数多くあるようで、他のゲームもプレイしたくなりました。

皆さまもぜひ、林業シミュレーションゲームで楽しみながら、林業に触れてみてください。

「森林のたより」編集委員 森林活用推進課 三石 花

イベント情報

10月1日発行

連載

- 山の歳時記(230)
- 山のおじゃまむし(397)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(141)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(139)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

10月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配
第1860回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	→
		4 m	16~18cm	14,000	—	→
			20~22cm	15,000	—	→
			24~28cm	15,000	—	→
			30cm以上	13,000	—	→
	ひのき	6 m	16~20cm	18,000	—	→
		3 m	16~18cm	20,900	—	→
			20cm以上	18,800	—	→
		4 m	16~22cm	20,700	—	→
			24~28cm	19,000	—	→
			30cm以上	18,900	51,300	→
		6 m	16~18cm	—	—	→
第1453回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,500	—	↘
		4 m	24~28cm	14,800	—	↘
			30cm以上	12,000	—	↘
	ひのき	3 m	16~18cm	21,000	—	↘
		4 m	20~22cm	20,300	—	↘
			24~28cm	19,100	—	↘
			30cm以上	19,000	107,700	→
		6 m	16~20cm	25,000	—	→
	ひめこ	4 m	24~30cm	11,000	—	↘
			30~38cm	11,000	—	↘
		5 m	40cm以上	—	—	↘
第1787回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,300	—	→
		4 m	24~28cm	14,800	—	→
			30cm以上元	15,000	28,000	→
	ひのき	3 m	16~22cm	20,500	—	→
			24~28cm	19,000	—	→
			30cm以上元	25,000	—	→
		4 m	13cm以下	10,000	—	→
			24~28cm	19,300	—	→
			30cm以上元	26,000	93,000	→
		6 m	18~22cm	29,500	—	→
8月1日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	→
			30cm以上元	11,000	—	→

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4mの元木、尺上良材は、入札多数であるが価格は伸び悩みで保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は保合。ヒノキ3m・4m構造材も価格は保合で推移。合板向けは、引き続き住宅着工などの伸び悩みにより製品の荷動きが鈍く弱基調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

ヒノキやスギ並材は横ばいで推移。広葉樹は出材も多く良材は応札盛況だが並材は価格が伸びなかった。高値はヒノキ4m×44cm@107,700円、ヒノキ4m×46cm@96,700円、ヒノキ4m×46cm@97,600円、ヒノキ2m×50cm@87,600円、クリ2.1m×40cm@33,300円、クリ3m×58cm@46,000円、クリ4m×36cm@30,000円、ナラ2m×44cm@41,000円、マクルミ2.1m×44cm@36,200円。(飛騨)

ヒノキ役物良材には応札多数で活気づいたが、構造材向けは当用買い中心で価格に伸びは見られず。3m柱向(14cm~26cm)は価格保合。4m中目、土台向けも引き合いはあるが保合。スギ中目、尺上、元木良材は、価格保合で推移。目荒等並材は価格伸び悩み売りづらは継続。4m(24cm以上)の構造材も保合で推移、同3mも保合継続。スギ6m長柱向け(18cm~22cm)は各方面から要望があり、造材をご検討下さい。合板向けは弱基調。ラミナ向けはスギ、ヒノキともに活発な動きあり。(東濃)

製品卸売標準価格 (7月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	78,000	(3,440)	→
	柱	3000	120	120	特等	73,000	(3,154)	→
		6000	120	120	特等	150,000	(12,960)	→
W集 ウ成 ッド材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	(3,000)	→
		3000	120	120	国産5層	98,000	(4,200)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (7月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	428	→
米楡	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

ついた
突き板

スライサーで平盤を薄く削いだ化粧用単板。単板の厚さは0.2~1.2mm程度で、薄づきは0.2~0.3mmのものが多く、厚づきは0.6~1.2mmあり、厚ものほど高級品と呼ばれている。通常、柱目どりで、柱角や造作材の化粧用として表面貼りされることが多い。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典